

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	美容技術理論	課程	職業実践専門	単位数	2	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	60	

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容器具の正しい取扱い方法と美容の基礎技術についての知識を習得する。 ・美容実習と併せて、美容師としての必要な技術、知識、創造能力を身に付ける。
--------	--

使用教科書等	(日本理容美容教育センター)
--------	----------------

学習計画

	大単元	中単元	時数
	メイクアップ	メイクアップ概論	13
		顔の形態学的な観察	
		メイクアップと色彩	
		皮膚の生理と構造	
		メイクアップの道具	
		スキンケア	
		ベースメイクアップ	
		アイメイクアップ	
		アイブロウメイクアップ	
		リップメイクアップ	
		ブラッシュオンメイクアップ	
	日本髪	日本髪の由来	8
		日本髪の種類と特徴	
		日本髪と調和	
		日本髪の装飾品	
		日本髪の結髪道具	
		日本髪の結髪技術	
		日本髪の手入れ	
		かつら	

着付けの理論と技術	着付けの目的	15
	礼装	
	着物と季節	
	着物のいろいろ	
	帯	
	小物	
	着物各部の名称	
	着物のたたみ方	
	着付けの一般的要領	
	留袖着付け技術	
	振袖着付け技術	
	帯締め、帯揚げの結び方	
	男子礼装羽織、袴着付け技術	
	羽織のひもの結び方	
	婚礼着付けの際の注意事項	
	和装花嫁	
	洋装花嫁	
国家試験対策	国家試験過去問	22
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況	
その他		

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	美容実習	課程	職業実践専門	単位数	15	美容師(実務経験あり)
授業形態	実技	学年	2	時間	450	

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容理論を応用し、個々の顧客の要望に応じた美容技術を提供できるようになる。 ・大会、コンテストなどの技術練習。 ・国家試験対策
--------	--

使用教科書等	(日本理容美容教育センター)
--------	----------------

学 習 計 画

	大単元	中単元	
	国家試験対策	レイヤーカット、ワインディング、オールウェーブセッティン	450
	大会等の練習	アップスタイル等	
	シャンプー等	就職に向けてのサロン対応	

評価方法	実技 ・授業態度 ・出席状況
------	----------------

その他	
-----	--

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	運営管理	課程	職業実践専門	単位数	1	担当	井田
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	30	備考	

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容業において適切な接客態度がいかに重要であることを自覚し、日ごろから真心をもって人に接することができる能力を身に付ける。 ・また、社会におけるエチケット・マナーの必要性を自覚する。 ・美容業における経営管理の手法及び重要性を理解し、将来役立つ知識を身に付ける。 ・労務管理・健康管理の重要性を知る。
--------	--

使用教科書等	(日本理容美容教育センター)
--------	----------------

学習計画

	大単元	中単元	時数
	経営とは・経営者とは	経営が必要とされる理由	2
		継続が厳しい理由	
		経営とは何か	
		経営資源と経営計画	
		経営戦略	
		経営戦略が目指すもの	
	理容業・美容業の経営について	業界の概要	1
		競争の変化	
		サービスとしての理容・美容	
		理容業・美容業の顧客について	
	資金の管理	資金管理の重要性	3
		収支と損益	
		会計の考え方	
		コストを管理する	
		税金について	
人という資源	人という資源	3	
	人の能力を高める		
	人をやる気にさせるために		
	給与		
	待遇・厚生福利		
	労働者の権利		

授業員としての視点から	健康管理の基礎	3
	理容業・美容業に特徴的な健康管理	
	社会保険 ～公的年金～	
	社会保険 ～医療保険～	
	社会保険 ～労務保険～	
	キャリアプランの重要性	
	仕事をするうえで考えるべきこと	
サービス・デザイン	顧客が求める価値	3
	顧客の実態	
	顧客満足の実現のためのシステム	
	最も重要な価値: 人	
	価値の多様性: 顧客が求めるもの	
	サービスの範囲	
マーケティング	理容業・美容業の顧客についてマーケティング	4
	マーケティング・ミックス	
	マーケティング・ミックスの要因 短期的要因①	
	マーケティング・ミックスの要因 短期的要因②	
	マーケティング・ミックスの要因 長期的要因①	
	マーケティング・ミックスの要因 長期的要因②	
	サービスのシステム化	
サービスにおける人の役割	接客について理解	6
	よい接客のために	
	接客の実践①	
	接客の実践②	
	接客の実践③	
	接客の実践④	
	接客の実践⑤	
	接客におけるトラブルの対応	
	接客で発生が予想される問題	
	問題を深刻化させないための対策・対処	
	国家試験の対策	
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況	
その他		

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	総合美容実習	課程	職業実践専門	単位数	10	美容師(実務経験あり)
授業形態	実技	学年	2	時間	300	

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師として実践に必要な技術、知識、創造能力を身に付ける。 ・国家試験受験のための課題を理解させ、合格を目指す。
--------	--

使用教科書等	(日本理容美容教育センター)
--------	----------------

学習計画

	大単元	中単元	時数
	サロンワーク	就職後のためにサロンワークを身に付ける	300
	大会等の練習		
	美容技術全般	シャンプー	
		まつエク	
		アップスタイル	
	国家試験の練習	国家試験課題	

評価方法	実技 ・授業態度 ・出席状況
------	----------------

その他	
-----	--

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	美容保健	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	30	

学習到達目標	美容技術の基礎となる人体のしくみ、特に皮膚及び毛髪 of 構造と機能についての知識を習得する。
--------	---

使用教科書等	(日本理容美容教育センター)
--------	----------------

学習計画

	大単元	中単元	時数
	皮膚の構造	皮膚表面	
		皮膚断面	
		表皮	
		表皮と真皮の境	
		真皮	
		皮下組織	
		皮膚の部位差	
	皮膚付属器官の構造	毛	
		脂腺	
		汗腺	
		爪	
	皮膚の循環系と神経系	皮膚の血管	
		皮膚のリンパ管	
		皮膚の神経	
	皮膚と付属器官の生理機能	対外保護作用	
		体温調節作用	
		知覚作用と皮膚反射	
		分泌排泄作用	
		呼吸作用・吸収作用・貯蔵作用	
		免疫・解毒・排除作用	
		ビタミンD形成作用	
		表情作用	
		再生作用	
		毛のはたらき	
		爪のはたらき	

	皮膚と付属器官の保健	皮膚の全身状態	30
		皮膚と精神	
		皮膚と栄養	
		皮膚とし好品	
		皮膚と体内病変	
		皮膚の水分と脂の状態	
		皮膚・付属器官とホルモン	
		皮膚の保護と手入れ	
		毛の保護と手入れ	
		爪の保護と手入れ	
		子どものおしゃれによる皮膚トラブル	
	皮膚と付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類	
		皮膚疾患の原因	
		皮膚疾患の治療法	
		皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹	
		口唇の疾患	
		温熱・寒冷による皮膚疾患	
		角化異常による皮膚疾患	
		色素異常による皮膚疾患	
		血管腫(アカアザ)	
		脂腺母斑	
		下肢静脈瘤	
		分泌異常による皮膚疾患	
		化膿菌による皮膚疾患	
		ウイルスによる皮膚疾患	
		真菌による皮膚疾患	
		衛生害虫による皮膚疾患	
		感染症の皮膚疾患の予防	
		毛と爪の疾患	
		皮膚の腫瘍	
	国家試験対策		
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

授業形態	総合美容技術(ネイルコース)	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
区分	一斉授業・実技	学年	2	時間	30	
学習到達目標	JNEC ネイリスト技能検定2級、ジェルネイル検定初級の習得					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
学習計画						
	大単元	中単元				時数
	検定対策	ネイルの分類				30
		様々なテクニック				
		検定内容の確認				
		爪の構造				
		テーブルセッティング				
		ポリッシュ塗布				
		ファイリング				
		プッシュアップ				
		ガーゼクリーン				
		アート				
		タイムトライアル				
評価方法	定期考査 ・実技 ・授業態度 ・出席状況					
その他						

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	香粧品化学	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業・実験観察	学年	2	時間	30	
学習到達目標	○美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、科学的知識と器具や香粧品の適正な取り扱いが不可欠であること理解する					
使用教科書等	香粧品化学(日本理容美容教育センター)					

学 習 計 画

大単元	中単元	学習内容	時数
基礎香粧品	1. 皮膚清浄用香粧品	・皮膚の汚れと浄作用、石けんの種類とその性質、その他の清浄剤について理解する。	30
	2. 化粧水	・化粧水の種類と機能性を知る。	
	3. クリーム・乳液	・クリーム・乳液の皮膚への作用や種類と機能を知る。	
	4. その他の基礎香粧品	・シェービング用香粧品、美容液、打粉、パック剤について知る。	
メイクアップ用品	1. メイクアップ用香粧品の種類と剤形	・メイクアップ香粧品に必要な性質、種類、剤形について理解する。	
	2. ベースメイクアップ香粧品	・おしろい類、ファンデーション類の種類と特徴について知る。	
	3. ポイントメイクアップ香粧品	・紅類、メイクアップ香粧品、ネイル用香粧品の必要な条件、種類、剤形や基剤について理解する。	
頭皮・毛髪用香粧品	1. シャンプー剤	・シャンプー剤、ヘアリンス剤、ヘアトリートメント剤の性質、種類、	
	2. スタイル剤	・スタイル剤の機能、種類、剤形について知る。	
	3. パーマ剤	・パーマの原理、分類、1剤、2剤、使用上の注意について知る。	
	4. ヘアカラー製品	・ヘアカラーのメカニズム、種類、各染毛料、染毛剤、使用上の注意について理解する。	
	5. 育毛剤	・脱毛の原因、育毛剤の種類と機能、原料について知る。	
特殊香粧品と	1. 芳香製品	・芳香製品の種類、効用と使用上の注意を理解する。	
	2. 特殊香粧品	・サンケア製品、美白用香粧品、制汗・防臭剤、ニキビ用香粧品について理解する。	
	・国家試験対策		
評価方法	定期考査 ・授業態度 ・出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	文化論	課程	職業実践専門	単位数	1	担当	琴野
授業形態	一斉授業・実技	学年	2	時間	30	備考	
学習到達目標	○文化に関する歴史を知り、新しい文化を創造する礎とする。						
使用教科書等	『文化論』（日本理容美容教育センター）						

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
	第4章 ファッション文化史 西 洋編	古代エジプト	30
		古代ギリシャ・ローマ	
		古代ゲルマン	
		中世ヨーロッパ	
		近世Ⅰ（16世紀）	
		近世Ⅱ（17世紀）	
		近世Ⅲ（18世紀）	
		近代Ⅰ（19世紀）	
		近代Ⅱ（19世紀）	
		現代Ⅰ（1910年～1920年代）	
		現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）	
		現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）	
		現代Ⅳ（196年代）	
		現代Ⅴ（1970年代）	
		現代Ⅵ（1980年代）	
		現代Ⅶ（1990年代～2010年）	
		礼装の種類	
	(国家試験対策)		
評価方法	定期考査 ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	関係法規・制度	課程	職業実践専門	単位数	1	担当	渡邊
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	30	備考	
学習到達目標	○美容に関する関係法規や制度を学習し、法律に基づいて美容店を経営したり、就労したりすることができるようになる。						
使用教科書等	『関係法規・制度』化粧品化学(日本理容美容教育センター)						

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
	第1章 法制度の概要	社会生活における法の役割	30
		法の形式	
		衛生法規の概要	
		理容師・美容師法と付属法令	
	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史	
		衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	
		衛生行政を担う行政機関	
	第3章 理容師法・美容師法	目的	
		用語の説明	
		人(理容師・美容師)に関する規定	
		施設(理容所・美容所)に関する規定	
		立ち入り検査と環境衛生監視員	
		違反者等に対する行政処分	
		罰則	
	第4章 関連法規	理容業・美容業の運営に関する法律	
		理容業・美容業の衛生に関する法律	
		理容業・美容業の消費者保護に関する法律	
(国家試験対策問題)			
評価方法	定期考査 ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	衛生管理	課程	職業実践専門	単位数	2	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	60	
学習到達目標	・公衆衛生の意義と本質とを明確にし、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならないことを十分に理解する。					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					

学 習 計 画

	大単元	中単元	時数
感染症	感染症の総論	人と感染症	60
		病原微生物	
		感染症の予防	
	感染症の各論	理容・美容と感染症	
		主な感染症	
		具体的な対策の例	
衛生管理技術	消毒法総論	消毒とは	
		消毒の意義	
		理容・美容の業務と消毒との関係	
		消毒法と適用上の注意	
	消毒法各論	理学的消毒方法	
		科学的消毒方法	
		すぐれた消毒法とその実施上の注意	
	消毒法実習	各種消毒薬	
		理容所・美容所の消毒の実際	
		理容所・美容所の清潔法の実際	
	実践例	理容所及び美容所における衛生管理要領	
		理・美容所の自主点検表	
	国家試験対策		
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況		
その他			

浜田ビューティーカレッジ シラバス

科目名	カウンセリング	課程	職業実践専門	単位数	1	美容師(実務経験あり)
授業形態	一斉授業	学年	2	時間	30	
教科目標	・美容師が行う接客、施術の上で、顧客の要望に応じた適切で、正確な技術提供する為に、カウンセリングの実施が重要であることを認識、理解させる					
使用教科書等	(日本理容美容教育センター)					
学習概要	1・カウンセリング概論 2・毛髪、皮膚コンサルティング 3・ヘアー、メイク、コンサルティング					
学習方法	・教科書の内容を中心に資料を取り入れながら行う。 ・カルテなど使用し、カウンセリング演習を行う。					
評価観点	・出席状況及び授業態度。 ・課題の提出状況。 ・定期考査					
評価方法	定期考査 ・ 小テスト ・ 授業態度 ・ 出席状況					
その他						